

【】慣用句 熟語 意味

[\[FdText Home\]](#)

頭が切れる	たいへん賢い
頭が堅(かたい)	考え方が頑固で融通がきかない
頭が上がらない	相手の方が力が上でいばれない
頭が下がる	行いなどがりっぱで、とても感心(かんしん)させられること
頭が痛(いたい)	心配ごとをどのようにかたづけたらよいかわからず悩(なや)むこと
頭をひねる	あれこれ考える
頭を抱(かか)える	どうしたらよいかと考え込む
顔が広い	つき合いが広く、多くの人に知られていること
顔から火が出る	たいへん恥ずかしくて顔がまっかになる
顔が売れる	世間に広く名が知れること。
顔が利(き)く	名が通っていて、相手に無理がきくこと
顔が立つ	面目(めんぼく)や体面(たいめん)が保たれること
顔をつぶす	人の面目(めんぼく)を傷つけ、失わせること
顔にどろをぬる	人に恥(はじ)をかかせること
顔を出す	出席する
顔を貸す	頼まれて人に会うこと
額(ひたい)を集める	多くの人が集まって相談すること
目から鼻へぬける	判断(はんだん)がすばやくたいへん賢い
目に余(あま)る	あまりのひどさにだまって見ていられない
目の上のたんこぶ	じゃまもののたとえ
目に角(かど)を立てる	おこって人をにらみつけるようす
目の敵(かたき)	なにかにつけてにくらしく思うこと
目が高い	ものを見る目がすぐれていること
目が利(き)く	ものごとを見分ける力がすぐれていること
目が肥(こ)える	いいものを見慣(みな)れて、ものの価値(かち)が見分けられるようになること
見る目がない	物事の価値を見分ける力がないこと
目がない	非常に好きなこと
目が回(まわ)る	(1)めまいがしてくらくらすること (2)ひじょうにいそがしいこと
目を疑(うた)がう	自分の目を疑うほど信じられない
目もくれない	関心(かんしん)を示さず、見向きもしないこと
目もあてられない	あまりにもひどくて見ていられないこと
目をつぶる	見てみないふりをして見のがす
目をかける	とくにかわいがってめんどろをみること
目を止める	注意してみる
目を奪(うば)う	すっかり見とれる

目を細(ほそ)くする	うれしさ, 愛らしさなどでほほえみを浮かべる様子
目を盗(ぬす)む	人に見つからないようにこっそりとする
目に入れても痛(いた)くない	とてもかわいいと思うようす
目を皿(さら)にする	驚いたり, よく見ようとしたりして, 目を大きく見開くこと
目を丸(まる)くする	驚いて目を大きく見開くようす
目の色を変える	目つきや表情を変える
目がくらむ	心が奪われて判断する力がなくなること
目がすわる	ひどくおこったり, 放心(ほうしん)したりして, 目玉がじっとして動かない
目が届(とど)く	注意が行き届く
目の毒(どく)	見るとよくない影響を与えるもの
目には目を歯に歯を	相手の仕打ちには, こちらも同様の仕打ちで対抗すること
目と鼻の先	ほんの少ししか離れていないこと
目の黒いうち	生きている間
眉(まゆ)をひそめる	不快な表情をする様子
眉(まゆ)につばをつける	だまされないように用心すること
鼻にかける	自慢する
鼻持(はなも)ちならない	嫌みな態度が我慢できない
鼻につく	あきて, いやになる
鼻をあかす	得意(とくい)になっている相手をだしぬいて, あっと言わせること
鼻で笑う	軽蔑して笑う
鼻であしらう	相手にしない
鼻もひっかけない	相手にしない
鼻を折(お)る	相手のおごる気持ちをくじく
鼻の先	目の前
鼻が高い	ほこらしい
口が重い	ことばかすが少ない
口が軽い	軽々しくしゃべる
口がかたい	軽々しくしゃべらない
口をすべらす	うっかりしゃべってしまう
口を割(わ)る	かくしていたことを白状(はくじょう)すること
口を切る	何人かいる中で最初(さいしょ)に発言すること
口が酸(す)っぱくなる	同じことを繰り返し言う
口を極(きわ)めて	言葉を尽くして
口が減(へ)らない	いいわけがうまい
口がうまい	言い方がじょうずで相手に気に入られるように話すこと
口がすべる	話してはいけないことをうっかり話してしまうこと

口走(くちばしる)	心にもないことをついしゃべってしまうこと
口をそろえる	みなが同じことを言う
口車(くちぐるま)に乗る	人の話にだまされる
口をきく	仲を取り持つ
口をとがらす	怒って言う。不満そうな顔をする
口をはさむ	他人の話の途中で割り込んで話すこと
口をぬぐう	知らないふりをする
口に合う	食べ物の味が自分の好みと一致する
あごで使う	いばった態度(たいど)で相手を使うこと
あごを出す	すっかり疲(つか)れてしまうこと
舌を巻(ま)く	ひどく関心して驚くこと
舌を出す	かげで悪口を言ったり、ばかにしたりすること
舌が回る	よどみなくしゃべること
舌の根も乾(かわ)かぬうちに	言い終えてすぐに
歯が立たない	相手が強くてとてもかなわないこと
歯に衣(きぬ)着せぬ	えんりよしないで、思ったままを率直(そつちよく)に言うこと
歯が浮(う)く	軽はずみなことを見たり聞いたりして嫌な感じがする
歯の抜(ぬ)けたよう	あるべきものが欠けて寂しい様子
首を長くする	あることを今か今かと期待して待つこと
首が回らない	借金(しゃっきん)などが多く、どうにもならないこと
肩をもつ	ある人の味方(みかた)をしてひいきすること
肩で風を切る	得意(とくい)そうで威勢(いせい)がいいこと
肩を並(なら)べる	対等の位置で張り合う
肩を落とす	がっかりして元気がないようす
肩の荷(に)がおりる	責任(せきにん)や義務(ぎむ)を果たし、解放(かいほう)されてほっとする
手がつけられない	どうすることもできない
手に余(あま)る	自分一人ではどうにもできないこと
手が空(あ)く	仕事すすんでひまになる
手がかかる	世話がやける
手をやく	とりあつかいに困ること
手も足も出ない	相手の方が力が上で、こちらではどうすることもできない
手が込(こ)む	手間がかかっている
手がない	方法がないこと
手を尽(つ)くす	あらゆる手段で精いっぱいやる
手につかない	集中できない
手を染(そ)める	着手する

手に汗(あせ)を握(にぎ)る	はらはらすること
手を切る	今までの関係を絶つ
手を広げる	やっていることの範囲(はんい)を広げること
のどから手が出る	ほしくてほしくてたまらないこと
手が上(あ)がる	腕前(うでまえ)が上達(じょうたつ)すること
手をこまねく	何もしないでただなりゆきを見ていること
膝(ひざ)をまじえる	お互いに親しく打ちとけて話し合うこと
すねをかじる	自分の力で生活することができず、親などのやっかいになること
耳が痛(いた)い	弱点を指摘され、聞くのがつらい
耳にたこができる	同じことをくりかえし聞かされて聞きあきること
耳が早い	うわさなどを人より早く聞きつけるようす
耳にはさむ	ちらっと聞く
耳にする	何気なく聞く
耳を澄(す)ます	よく聞こうとする
耳を傾(かたむ)ける	熱心にじっと聞く
耳を貸(か)す	相手の話を聞こうとする
寝耳(ねみみ)に水	とつぜんのことに驚くこと
耳を疑(うたが)う	意外(いがい)で信じられず、聞き違いではないかと思うこと
耳をそろえる	必要なお金を全額用意すること
耳にさわる	聞いていて嫌だと感じる
腕(うで)が鳴(な)る	自分の力を示したくてむずむずする
腕を上げる	じょうずになる
腕によりをかける	腕前をふるおうとしていっそうはりきること
指をくわえる	手が出ずにながめている
指を指(さ)す	かげで悪口を言う
爪(つめ)に火をともし	とても貧(まず)しい生活のたとえ
胸がすく	不愉快な気持ちが消え、せいせいすること
胸を打たれる	感動する
胸を痛(いた)める	悲しみや心配ごとで苦しむ
胸がつぶれる	心配や悲しみを強く感じることに
胸を借(か)りる	力が下の者が力が上の者に練習の相手になってもらうこと
腹が黒い	心の中に悪い考えをもっているようす
腹をすえる	覚悟(かくご)をきめること
腹にすえかねる	怒(いか)りをおさえることができないこと
腹を決(き)める	覚悟(かくご)をきめること
腹を抱(かか)える	大笑いすること
腹を割(わ)る	かくさないで本心(ほんしん)をうちあける

腹を探(さぐ)る	相手の心中をうかがうこと
背に腹はかえられない	大切なことのためには、小さなことにはかまっていられないこと
肝(きも)がすわる	どっしりして落ち着いていること
肝(きも)をつぶす	非常におどろくこと
へそを曲(ま)げる	機嫌を損ねて言うことをきかない様子
ほぞをかむ	後悔すること
腰が低い	他人に対してへりくだって、ていねいである
腰が重い	なかなか動かない様子
腰をすえる	落ち着いてどっしり構えること
腰をぬかす	ひどくびっくりする
腰を折(お)る	途中で邪魔をする
骨(ほね)を折(お)る	苦勞(くろう)をかえりみず力をつくすこと
足が棒(ぼう)になる	長い間歩いたり立っていたりしてつかれ、足がこわばること
足を洗(あら)う	悪い仕事をやめて、まじめな生活にはいる
足を引っ張る	人の前進や成功(せいこう)のじゃまをすること
足を奪(うば)われる	交通機関が止まって、交通ができなくなる
二の足を踏(ふ)む	ためらうこと
足が遠(とお)のく	あまり訪れなくなる
足が向く	知らず知らずにその方へ行く
足が出る	予算をオーバーする
あげ足を取る	相手のことばじりやいいそこないをとらえてやりこめること
足元(あしもと)を見る	相手の弱点(じゃくてん)を見ぬき、それにつけこむこと
足元(あしもと)に火がつく	危険(きけん)や重大な事態(じたい)が身近にせまっていること
足が地につかない	興奮して落ち着かない様子
足がとられる	道が悪くてうまく歩けない
二足のわらじ	同じ人が二つの職業をかねること
尻馬(しりうま)に乗る	深く考えずに他人にあわせて行動すること
尻(しり)に火がつく	ものごとがさしせまってあわてるようす
身を粉(こ)にする	苦勞をいとわず、けんめいに働くこと
身に余(あま)る	身の程をすぎてふさわしくない
身につまされる	他人の不幸がわが身に引き比べられる
身もふたもない	表現が露骨すぎて含みも情緒もないこと
脂(あぶら)が乗る	仕事などに調子がでること
青菜(あおな)に塩(しお)	急に元気をなくしてしょげるようす
味(あじ)をしめる	一度うまくいったので次もと期待すること
あとのまつり	手遅れになること
相(あい)づちを打つ	相手の調子に合わせてうなずいたりすること

油を売る	仕事をしないで遊ぶこと
油をしぼる	失敗(しっばい)などをきびしくしかる
あわを食う	驚きあわてること
息(いき)を殺(ころ)す	息をおさえてじっとしているようす
息(いき)をのむ	驚いてはっとする
板(いた)につく	動作や身なりがその人の役割や仕事に合っている様子
一日(いちじつ)の長	少しすぐれていること
犬の遠(とお)ぼえ	かげで空(から)いばりをする事
牛の歩み	進行, 進歩が遅いこと
一目(いちもく)置(おく)	相手が自分よりもすぐれていると認めて敬意を払うこと
二の句(く)がつけない	あきれて次に言う言葉がでないこと
二の舞(まい)を演(えん)じる	同じ失敗を繰り返すこと
後(うしろ)髪(がみ)をひかれる	あとのことが気にかかって, あきらめきれないこと
馬(うま)が合う	たがいにぴったりと気が合う
馬(うま)の骨	身分, 素性がはっきりしないこと
さばを読む	数をごまかすこと
おうむ返(がえ)し	相手の言ったとおりに言い返すこと
お茶をにごす	一時のがれにその場をごまかすこと
折(お)り紙をつける	人や物をすぐれているとして保証すること
角(かど)が立つ	おだやかでない言動によって, ものごとがうまく進まなくなる事
かぶとを脱(ぬ)ぐ	自分の力ではかなわないことを認め, 降参すること
折(お)り紙をつける	一流であり, 信用できることを保証すること
思う壺(つぼ)にはまる	予想したとおりにうまく行く
気がおけない	心を許してつき合える
気に病(や)む	くよくよ心配して思い悩(なや)むこと
気をもむ	どうなることかと心配(しんぱい)して, いらいらすること
壁(かべ)にぶつかる	困難なことに会う
尾(お)を引(ひ)く	あとあとまで影響する
木(き)で鼻(はな)をくくる	ぶあいそうにもてなすこと
念(ねん)を押(お)す	確かめること
釘(くぎ)をさす	あとで問題が起こらないように念(ねん)をおすこと
煙(けむ)に巻(ま)く	相手の判断をまごつかせる
けりをつける	終わりにする
けがの功名(こうみょう)	失敗(しっばい)が思わぬ良い結果(けっか)を生むこと
影(かげ)が薄(うす)い	あまり目立たない, 元気がないように見える
さじをなげる	だめだと思ってみずてること

だめを押(お)す	念には念を入れて確かめること
しっぼを出す	悪いことがあらわれてしまうこと
しびれを切らす	待(ま)ちくたびれて、がまんできなくなること
しのぎを削(けず)る	激しく争う
柵(たな)に上げる	自分に不都合なことは知らぬふりをする
砂をかむ	味わいのない様子
雀(すずめ)の涙(なみだ)	あるかないかというぐらいの少ない量
図(ず)に当たる	思った通りになること
図(ず)に乗る	いい気になってつけあがること
高(たか)をくくる	たいしたことはないと軽く見る
裏をかく	相手の予想外の行動にでること
うまい汁(しる)を吸(す)う	努力しないで利益を得る
立(た)て板(いた)に水	すらすらとしゃべるようす
玉(たま)にきず	他の部分はりっぱだが、そこだけ悪いということ
瓜(うり)二つ	非常に似ていること
鶴(つる)の一声(ひとこえ)	多くの意見をおさえる実力者の一言
手塩(てしお)にかける	自分の手で大切に世話をして育てること
頭角(とうかく)を現(あらわ)す	力や才能がすぐれ、目立ってくる
途方(とほう)に暮(く)れる	どうしたらいいのかわからなくなる
涙(なみだ)をのむ	くやしい思いをがまんすること
猫の手も借りたい	ひじょうに忙しいこと
猫(ねこ)をかぶる	本当の性質をかくして、おとなしそうにすること
猫なで声	人の機嫌をとるような優しい声
猫かわいがり	甘やかした愛し方
猫の額(ひたい)	面積がとても狭いこと
袋(ふくろ)のねずみ	取り囲まれて逃げ場のないこと
虎(とら)の子	日頃大切にしているもの
虫が知らせる	何となく何かが起こりそうな予感がすること
虫がいい	自分の都合の良いように考えること
狸(たぬき)寝入(ねい)り	眠ったふりをする
鵜(う)のみにする	物事を十分理解しないで受け付けること
根も葉もない	何の根拠もないでたらめなこと
花をもたせる	相手にてがらなどをゆずること
非の打ちどころがない	欠点がまったくないこと
ほねをおしむ	苦勞するのをいやがること

上(うわ)の空	他のことに心を奪われて目の前のことに注意がいかないこと
水に流す	何もなかったことにする
水をむける	さそいをかける
一杯(いっぱい)くわす	相手をだます
絵にかいたもち	空想や計画だけすばらしくて実際には役に立たないこと
月並(つきな)み	平凡なこと
雲泥(うんでい)の差	物事の価値が大きくかけ離れていること
やぶからぼう	思いがけないようす
山が見える	ものごとの見通しがつく
つじつまが合う	物事の筋道が合う
色を失う	驚きや恐れのために顔色がなくなること
途方(とほう)にくれる	どうしたらよいかわからなくなること
立つ瀬がない	立場がない
取りつく島もない	頼っていたのに冷たく突き放されること
悦(えつ)にいる	一人で気に入って喜ぶ
太鼓判(たいこばん)を押す	絶対大丈夫だと保証すること
反(そ)りが合わない	仲がしっくりいかない
横車(よこぐるま)をおす	道理に合わないことを無理(むり)やり通そうとすること
袖(そで)にする	冷たくして相手にしない
わらにもすがる	追いつめられると、どんなものにでもたよりたくなること
たんかを切る	勢いよくまくしたてること
おくびにも出さない	考えを隠して、言葉や態度に少しも出さないこと
隅(すみ)に置けない	見かけより優れていて判断できない
たらい回しにする	一つの事柄を順々に他に回す

【】慣用句 意味 熟語

たいへん賢い	頭が切れる
考え方が頑固で融通がきかない	頭が堅(かた)い
相手の方が力が上でいばれない	頭が上がらない
行いなどがりっぱで、とても感心(かんしん)させられること	頭が下がる
心配ごとをどのようにかたづけたらよいかわからず悩(なや)むこと	頭が痛(いた)い
あれこれ考える	頭をひねる
どうしたらよいかと考え込む	頭を抱(かか)える
付き合いが広く、多くの人に知られていること	顔が広い
たいへん恥ずかしくて顔がまっかになる	顔から火が出る
世間に広く名が知れること。	顔が売れる
名が通っていて、相手に無理がきくこと	顔が利(き)く
面目(めんぼく)や体面(たいめん)が保たれること	顔が立つ
人の面目(めんぼく)を傷つけ、失わせること	顔をつぶす
人に恥(はじ)をかかせること	顔にどろをぬる
出席する	顔を出す
頼まれて人に会うこと	顔を貸す
多くの人が集まって相談すること	額(ひたい)を集める
判断(はんだん)がすばやくたいへん賢い	目から鼻へぬける
あまりのひどさにだまって見ていられない	目に余(あま)る
じゃまもののたとえ	目の上のたんこぶ
おこって人をにらみつけるようす	目に角(かど)を立てる
なにかにつけてにくらしく思うこと	目の敵(かたき)
ものを見る目がすぐれていること	目が高い
ものごとを見分ける力がすぐれていること	目が利(き)く
いいものを見慣(みな)れて、ものの価値(かち)が見分けられるようになること	目が肥(こ)える
物事の価値を見分ける力がないこと	見る目がない
非常に好きなこと	目がない
(1)めまいがしてくらくらすること (2)ひじょうにいそがしいこと	目が回(まわ)る
自分の目を疑うほど信じられない	目を疑(うた)がう
関心(かんしん)を示さず、見向きもしないこと	目もくれない
あまりにもひどくて見ていられないこと	目もあてられない
見てみないふりをして見のがす	目をつぶる
とくにかわいがってめんどろをみること	目をかける
注意してみる	目を止める
すっかり見とれる	目を奪(うば)う

うれしさ、愛らしさなどでほほえみを浮かべる様子	目を細(ほそ)くする
人に見つからないようにこっそりとする	目を盗(ぬす)む
とてもかわいいと思うようす	目に入れても痛(いた)くない
驚いたり、よく見ようとしたりして、目を大きく見開くこと	目を皿(さら)にする
驚いて目を大きく見開くようす	目を丸(まる)くする
目つきや表情を変える	目の色を変える
心が奪われて判別する力がなくなること	目がくらむ
ひどくおこったり、放心(ほうしん)したりして、目玉がじっとして動かない	目がすわる
注意が行き届く	目が届(とど)く
見るとよくない影響を与えるもの	目の毒(どく)
相手の仕打ちには、こちらも同様の仕打ちで対抗すること	目には目を歯に歯を
ほんの少ししか離れていないこと	目と鼻の先
生きている間	目の黒いうち
不快な表情をする様子	眉(まゆ)をひそめる
だまされないように用心すること	眉(まゆ)につばをつける
自慢する	鼻にかける
嫌みな態度が我慢できない	鼻持(はなも)ちならない
あきて、いやになる	鼻につく
得意(とくい)になっている相手をだしぬいて、あっと言わせること	鼻をあかす
軽蔑して笑う	鼻で笑う
相手にしない	鼻であしらう
相手にしない	鼻もひっかけない
相手のおごる気持ちをくじく	鼻を折(お)る
目の前	鼻の先
ほこらしい	鼻が高い
ことばかすが少ない	口が重い
軽々しくしゃべる	口が軽い
軽々しくしゃべらない	口がかたい
うっかりしゃべってしまう	口をすべらす
かくしていたことを白状(はくじょう)すること	口を割(わ)る
何人かいる中で最初(さいしょ)に発言すること	口を切る
同じことを繰り返す言う	口が酸(す)っぱくなる
言葉を尽くして	口を極(きわ)めて
いいわけがうまい	口が減(へ)らない
言い方がじょうずで相手に気に入られるように話すこと	口がうまい
話してはいけないことをうっかり話してしまうこと	口がすべる

心にもないことをついしゃべってしまうこと	口走(くちばしる)
みなが同じことを言う	口をそろえる
人の話にだまされる	口車(くちぐるま)に乗る
仲を取り持つ	口をきく
怒って言う。不満そうな顔をする	口をとがらす
他人の話の途中で割り込んで話すこと	口をはさむ
知らないふりをする	口をぬぐう
食べ物の味が自分の好みと一致する	口に合う
いばった態度(たいど)で相手を使うこと	あごで使う
すっかり疲(つか)れてしまうこと	あごを出す
ひどく関心して驚くこと	舌を巻(ま)く
かげで悪口を言ったり, ばかにしたりすること	舌を出す
よどみなくしゃべること	舌が回る
言い終えてすぐに	舌の根も乾(かわ)かぬうちに
相手が強くてとてもかなわないこと	歯が立たない
えんりょしないで, 思ったままを率直(そつちよく)に言うこと	歯に衣(きぬ)着せぬ
軽はずみなことを見たり聞いたりして嫌な感じがする	歯が浮(う)く
あるべきものが欠けて寂しい様子	歯の抜(ぬ)けたよう
あることを今か今かと期待して待つこと	首を長くする
借金(しゃっきん)などが多く, どうにもならないこと	首が回らない
ある人の味方(みかた)をしてひいきすること	肩をもつ
得意(とくい)そうで威勢(いせい)がいいこと	肩で風を切る
対等の位置で張り合う	肩を並(なら)べる
がっかりして元気がないようす	肩を落とす
責任(せきにん)や義務(ぎむ)を果たし, 解放(かいほう)されてほっとする	肩の荷(に)がおりる
どうすることもできない	手がつけられない
自分一人ではどうにもできないこと	手に余(あま)る
仕事(しごと)がすんでひまになる	手が空(あ)く
世話がやける	手がかかる
とりあつかいに困ること	手をやく
相手の方が力が上で, こちらではどうすることもできない	手も足も出ない
手間がかかっている	手が込(こ)む
方法がないこと	手がない
あらゆる手段で精いっぱいやる	手を尽(つ)くす
集中できない	手につかない
着手する	手を染(そ)める

はらはらすること	手に汗(あせ)を握(にぎ)る
今までの関係を絶つ	手を切る
やっていることの範囲(はんい)を広げること	手を広げる
ほしくてほしくてたまらないこと	のどから手が出る
腕前(うでまえ)が上達(じょうたつ)すること	手が上(あ)がる
何もしないでただなりゆきを見ていること	手をこまねく
お互いに親しく打ちとけて話し合うこと	膝(ひざ)をまじえる
自分の力で生活することができず、親などのやっかいになること	すねをかじる
弱点を指摘され、聞くのがつらい	耳が痛(いた)い
同じことをくりかえし聞かされて聞きあきること	耳にたこができる
うわさなどを人より早く聞きつけるようす	耳が早い
ちらっと聞く	耳にはさむ
何気なく聞く	耳にする
よく聞こうとする	耳を澄(す)ます
熱心にじっと聞く	耳を傾(かたむ)ける
相手の話を聞こうとする	耳を貸(か)す
とつぜんのことに驚くこと	寝耳(ねみみ)に水
意外(いがい)で信じられず、聞き違いではないかと思うこと	耳を疑(うたが)う
必要なお金を全額用意すること	耳をそろえる
聞いていて嫌だと感じる	耳にさわる
自分の力を示したくてむずむずする	腕(うで)が鳴(な)る
じょうずになる	腕を上げる
腕前をふるおうとしていっそうはりきること	腕によりをかける
手が出ずにながめている	指をくわえる
かげで悪口を言う	指を指(さ)す
とても貧(まず)しい生活のたとえ	爪(つめ)に火をともし
不愉快な気持ちが消え、せいせいすること	胸がすく
感動する	胸を打たれる
悲しみや心配ごとで苦しむ	胸を痛(いた)める
心配や悲しみを強く感じること	胸がつぶれる
力が下の者が力が上の者に練習の相手になってもらうこと	胸を借(か)りる
心の中に悪い考えをもっているようす	腹が黒い
覚悟(かくご)をきめること	腹をすえる
怒(いか)りをおさえることができないこと	腹にすえかねる
覚悟(かくご)をきめること	腹を決(き)める
大笑いすること	腹を抱(かか)える
かくさないで本心(ほんしん)をうちあける	腹を割(わ)る

相手の心中をうかがうこと	腹を探(さぐる)
大切なことのためには、小さなことにはかまっていられないこと	背に腹はかえられない
どっしりして落ち着いていること	肝(きも)がすわる
非常におどろくこと	肝(きも)をつぶす
機嫌を損ねて言うことをきかない様子	へそを曲(ま)げる
後悔すること	ほぞをかむ
他人に対してへりくだって、ていねいである	腰が低い
なかなか動かない様子	腰が重い
落ち着いてどっしり構えること	腰をすえる
ひどくびっくりする	腰をぬかす
途中で邪魔をする	腰を折(お)る
苦勞(くろう)をかえりみず力をつくすこと	骨(ほね)を折(お)る
長い間歩いたり立っていたりしてつかれ、足がこわばること	足が棒(ぼう)になる
悪い仕事をやめて、まじめな生活にはいる	足を洗(あら)う
人の前進や成功(せいこう)のじゃまをすること	足を引っ張る
交通機関が止まって、交通ができなくなる	足を奪(うば)われる
ためらうこと	二の足を踏(ふ)む
あまり訪れなくなる	足が遠(とお)のく
知らず知らずにその方へ行く	足が向く
予算をオーバーする	足が出る
相手のことばじりやいいそこないをとらえてやりこめること	あげ足を取る
相手の弱点(じゃくてん)を見ぬき、それにつけこむこと	足元(あしもと)を見る
危険(きけん)や重大な事態(じたい)が身近にせまっていること	足元(あしもと)に火がつく
興奮して落ち着かない様子	足が地につかない
道が悪くてうまく歩けない	足がとられる
同じ人が二つの職業をかねること	二足のわらじ
深く考えずに他人にあわせて行動すること	尻馬(しりうま)に乗る
ものごとがさしせまってあわてるようす	尻(しり)に火がつく
苦勞をいとわず、けんめいに働くこと	身を粉(こ)にする
身の程をすぎてふさわしくない	身に余(あま)る
他人の不幸がわが身に引き比べられる	身につまされる
表現が露骨すぎて含みも情緒もないこと	身もふたもない
仕事などに調子がでること	脂(あぶら)が乗る
急に元気をなくしてしょげるようす	青菜(あおな)に塩(しお)
一度うまくいったので次もと期待すること	味(あじ)をしめる
手遅れになること	あとのまつり
相手の調子に合わせてうなずいたりすること	相(あい)づちを打つ

仕事をしないで遊ぶこと	油を売る
失敗(しっばい)などをきびしくしかる	油をしぼる
驚きあわてること	あわを食う
息をおさえてじっとしているようす	息(いき)を殺(ころ)す
驚いてはっとする	息(いき)をのむ
動作や身なりがその人の役割や仕事に合っている様子	板(いた)につく
少しすぐれていること	一日(いちじつ)の長
かげで空(から)いばりをする	犬の遠(とお)ぼえ
進行, 進歩が遅いこと	牛の歩み
相手が自分よりもすぐれていると認めて敬意を払うこと	一目(いちもく)置(お)く
あきれて次に言う言葉がでないこと	二の句(く)がつけない
同じ失敗を繰り返すこと	二の舞(まい)を演(えん)じる
あとのことが気にかかって, あきらめきれないこと	後(うし)ろ髪(がみ)をひかれる
たがいにぴったりと気が合う	馬(うま)が合う
身分, 素性がはっきりしないこと	馬(うま)の骨
数をごまかすこと	さばを読む
相手の言ったとおりに言い返すこと	おうむ返(がえ)し
一時のがれにその場をごまかすこと	お茶をにごす
人や物をすぐれているとして保証すること	折(お)り紙(し)をつける
おだやかでない言動によって, ものごとがうまく進まなくなる	角(かど)が立つ
自分の力ではかなわないことを認め, 降参すること	かぶとを脱(ぬ)ぐ
一流であり, 信用できることを保証すること	折(お)り紙(し)をつける
予想したとおりにうまく行く	思う壺(つぼ)にはまる
心を許してつき合える	気がおけない
くよくよ心配して思い悩(なや)むこと	気に病(や)む
どうなることかと心配(しんぱい)して, いらいらすること	気をもむ
困難なことに会(あ)い	壁(かべ)にぶつかる
あとあとまで影響(えいぎょう)する	尾(お)を引(ひ)く
ぶあいそうにもてなすこと	木(き)で鼻(はな)をくくる
確かめること	念(ねん)を押(お)す
あとで問題(もんだい)が起こらないように念(ねん)をおすこと	釘(くぎ)をさす
相手の判断(はんぱん)をまごつかせる	煙(けむ)に巻(ま)く
終わりにする	けりをつける
失敗(しっばい)が思(おも)わぬ良い結果(けっか)を生(な)むこと	けがの功名(こうみょう)
あまり目立(めだ)たない, 元(もと)気がないように見える	影(かげ)が薄(うす)い
だめだと思(おも)ってみ(み)すてること	さじをなげる

念には念を入れて確かめること	だめを押(お)す
悪いことがあらわれてしまうこと	しっぽを出す
待(ま)ちくたびれて、がまんできなくなること	しびれを切らす
激しく争う	しのぎを削(け)ずる
自分に不都合なことは知らぬふりをする	柵(たな)に上げる
味わいのない様子	砂をかむ
あるかないかというぐらいの少ない量	雀(すずめ)の涙(なみだ)
思った通りになること	図(ず)に当たる
いい気になってつけあがること	図(ず)に乗る
たいしたことはないと軽く見る	高(たか)をくくる
相手の予想外の行動にでること	裏をかく
努力しないで利益を得る	うまい汁(しる)を吸(す)う
すらすらとしゃべるようす	立(た)て板(いた)に水
他の部分はりっぱだが、そこだけ悪いということ	玉(たま)にきず
非常に似ていること	瓜(うり)二つ
多くの意見をおさえる実力者の一言	鶴(つる)の一声(ひとこえ)
自分の手で大切に世話をして育てること	手塩(てしお)にかける
力や才能がすぐれ、目立ってくる	頭角(とうかく)を現(あら)わす
どうしたらいいのかわからなくなる	途方(とほう)に暮(く)れる
くやしい思いをがまんすること	涙(なみだ)をのむ
ひじょうに忙しいこと	猫の手も借りたい
本当の性質をかくして、おとなしそうにすること	猫(ねこ)をかぶる
人の機嫌をとるような優しい声	猫(ねこ)なで声
甘やかした愛し方	猫(ねこ)かわいがり
面積がとても狭いこと	猫(ねこ)の額(ひたい)
取り囲まれて逃げ場のないこと	袋(ふくろ)のねずみ
日頃大切にしているもの	虎(とら)の子
何となく何かが起こりそうな予感がすること	虫(むし)が知らせる
自分の都合の良いように考えること	虫(むし)がいい
眠ったふりをする	狸(たぬき)寝入(ねいり)
物事を十分理解しないで受け付けること	鶏(う)のみにする
何の根拠もないでたらめなこと	根も葉もない
相手にてがらなどをゆずること	花(はな)をもたせる
欠点がまったくないこと	非(ひ)の打ちどころがない

苦勞するのをいやがること	ほねをおしむ
他のことに心を奪われて目の前のことに注意がいかないこと	上(うわ)の空
何もなかったことにする	水に流す
さそいをかける	水をむける
相手をだます	一杯(いっぱい)くわす
空想や計画だけすばらしくて実際には役に立たないこと	絵にかいたもち
平凡なこと	月並(つきな)み
物事の価値が大きくかけ離れていること	雲泥(うんでい)の差
思いがけないようす	やぶからぼう
ものごとの見通しがつく	山が見える
物事の筋道が合う	つじつまが合う
驚きや恐れのために顔色がなくなること	色を失う
どうしたらよいかわからなくなること	途方(とほう)にくれる
立場がない	立つ瀬がない
頼っていたのに冷たく突き放されること	取りつく島もない
一人で気に入って喜ぶ	悦(えつ)にいる
絶対大丈夫だと保証すること	太鼓判(たいこばん)を押す
仲がしっくりいかない	反(そ)りが合わない
道理に合わないことを無理(むり)やり通そうとすること	横車(よこぐるま)をおす
冷たくして相手にしない	袖(そで)にする
追いつめられると、どんなものにでもたよりたくなること	わらにもすがる
勢いよくまくしたてること	たんかを切る
考えを隠して、言葉や態度に少しも出さないこと	おくびにも出さない
見かけより優れていて判断できない	隅(すみ)に置けない
一つの事柄を順々に他に回す	たらい回しにする

【】慣用句 適語記入

頭が()	たいへん賢い	頭が切れる
頭が()	考え方が頑固で融通がきかない	頭が堅(かた)い
頭が()	相手の方が力が上でいばれない	頭が上がらない
頭が()	行いなどがりっぱで、とても感心(かんしん)させられること	頭が下がる
頭が()	心配ごとをどのようにかたづけたらよいかわからず悩(なや)むこと	頭が痛(いた)い
頭を()	あれこれ考える	頭をひねる
頭を()	どうしたらよいかと考え込む	頭を抱(かか)える
顔が()	つき合いが広く、多くの人に知られていること	顔が広い
顔から()	たいへん恥(は)ずかしくて顔がまっかになる	顔から火が出る
顔が()	世間に広く名が知れること。	顔が売れる
顔が()	名が通っていて、相手に無理(無理)がきくこと	顔が利(き)く
顔が()	面目(めんぼく)や体面(たいめん)が保たれること	顔が立つ
顔を()	人の面目(めんぼく)を傷つけ、失わせること	顔をつぶす
顔に()	人に恥(は)をかかせること	顔にどろをぬる
顔を()	出席する	顔を出す
顔を()	頼まれて人に会うこと	顔を貸す
顔を()	多くの人が集まって相談すること	顔(ひたい)を集める
目から()	判断(はんだん)がすばやくたいへん賢い	目から鼻(はな)へぬける
目に()	あまりのひどさにだまって見ていられない	目に余(あま)る
目の上の()	じゃまもののたとえ	目の上のたんこぶ
目に()	おこって人をにらみつけるようす	目に角(かど)を立てる
目の()	なにかにつけてにくらしく思うこと	目の敵(かたき)
目が()	ものを見る目がすぐれていること	目が高い
目が()	ものごとを見分ける力がすぐれていること	目が利(き)く
目が()	いいものを見慣(みな)れて、ものの価値(かち)が見分けられるようになること	目が肥(こ)える
見る目が()	物事の価値を見分ける力がないこと	見る目がない
目が()	非常に好きなこと	目がない
目が()	(1)めまいがしてくらぐらすること (2) ひじょうにいそがしいこと	目が回(まわ)る
目を()	自分の目を疑(うた)うほど信じられない	目を疑(うた)がう

目も()	関心(かんしん)を示さず, 見向きもしないこと	目もくれない
目も()	あまりにもひどくて見ていられないこと	目もあてられない
目を()	見てみないふりをして見のがす	目をつぶる
目を()	とくにかわいがってめんどろをみること	目をかける
目を()	注意してみる	目を止める
目を()	すっかり見とれる	目を奪(うばう)う
目を()	うれしさ, 愛らしさなどでほほえみを浮かべる様子	目を細(ほそ)くする
目を()	人に見つからないようにこっそりとする	目を盗(ぬす)む
目に()	とてもかわいいと思うようす	目に入れても痛(いた)くない
目を()	驚いたり, よく見ようとしたりして, 目を大きく見開くこと	目を皿(さら)にする
目を()	驚いて目を大きく見開くようす	目を丸(まる)くする
目の色を()	目つきや表情を変える	目の色を変える
目が()	心が奪われて判別する力がなくなること	目がくらむ
目が()	ひどくおこったり, 放心(ほうしん)したりして, 目玉がじっとして動かない	目がすわる
目が()	注意が行き届く	目が届(とど)く
目の()	見るとよくない影響を与えるもの	目の毒(どく)
目には目を()	相手の仕打ちには, こちらも同様の仕打ちで対抗すること	目には目を歯に歯を
目と()	ほんの少ししか離れていないこと	目と鼻の先
目の()	生きている間	目の黒いうち
眉を()	不快な表情をする様子	眉(まゆ)をひそめる
眉に()	だまされないように用心すること	眉(まゆ)につばをつける
鼻に()	自慢する	鼻にかける
鼻持ち()	嫌みな態度が我慢できない	鼻持(はなも)ちならない
鼻に()	あきて, いやになる	鼻につく
鼻を()	得意(とくい)になっている相手をだしぬいて, あっと言わせること	鼻をあかす
鼻で()	軽蔑して笑う	鼻で笑う
鼻で()	相手にしない	鼻であしらう
鼻も()	相手にしない	鼻もひっかけない
鼻を()	相手のおごる気持ちをくじく	鼻を折(お)る
鼻の()	目の前	鼻の先

鼻が()	ほこらしい	鼻が高い
口が()	ことばかすが少ない	口が重い
口が()	軽々しくしゃべる	口が軽い
口が()	軽々しくしゃべらない	口がかたい
口を()	うっかりしゃべってしまう	口をすべらす
口を()	かくしていたことを白状(はくじょう)すること	口を割(わ)る
口を()	何人かいる中で最初(さいしょ)に発言すること	口を切る
口が()	同じことを繰り返し言う	口が酸(す)っぱくなる
口を()	言葉を尽くして	口を極(きわ)めて
口が()	いいわけがうまい	口が減(へ)らない
口が()	言い方がじょうずで相手に気に入られるように話すこと	口がうまい
口が()	話してはいけないことをうっかり話してしまうこと	口がすべる
口()	心にもないことをついしゃべってしまうこと	口走(くちば)しる
口を()	みなが同じことを言う	口をそろえる
口車に()	人の話にだまされる	口車(くちぐるま)に乗る
口を()	仲を取り持つ	口をきく
口を()	怒って言う。不満そうな顔をする	口をとがらす
口を()	他人の話の途中で割り込んで話すこと	口をはさむ
口を()	知らないふりをする	口をぬぐう
口に()	食べ物の味が自分の好みと一致する	口に合う
あごで()	いばった態度(たいど)で相手を使うこと	あごで使う
あごを()	すっかり疲(つか)れてしまうこと	あごを出す
舌を()	ひどく関心して驚くこと	舌を巻(ま)く
舌を()	かげで悪口を言ったり、ばかにしたりすること	舌を出す
舌が()	よどみなくしゃべること	舌が回る
舌の根も()	言い終えてすぐに	舌の根も乾(かわ)かめうちに
歯が()	相手が強くてとてもかなわないこと	歯が立たない
歯に()	えんりょしないで、思ったままを率直(そっちょく)に言うこと	歯に衣(きぬ)着せぬ
歯が()	軽はずみなことを見たり聞いたりして嫌な感じがする	歯が浮(う)く

歯の()	あるべきものが欠けて寂しい様子	歯の抜(ぬ)けたよう
首を()	あることを今か今かと期待して待つこと	首を長くする
首が()	借金(しゃっきん)などが多く、どうにもならないこと	首が回らない
肩を()	ある人の味方(みかた)をしてひいきすること	肩をもつ
肩で()	得意(とくい)そうで威勢(いせい)がいいこと	肩で風を切る
肩を()	対等の位置で張り合う	肩を並(なら)べる
肩を()	がっかりして元気がないようす	肩を落とす
肩の()	責任(せきにん)や義務(ぎむ)を果たし、解放(かいほう)されてほっとする	肩の荷(に)がおりる
手が()	どうすることもできない	手がつけられない
手に()	自分一人ではどうにもできないこと	手に余(あま)る
手が()	仕事(しごと)がすんでひまになる	手が空(あ)く
手が()	世話(よせわ)がやける	手がかかる
手を()	とりあつかいに困ること	手をやく
手も足も()	相手の方が力が上で、こちらではどうすることもできない	手も足も出ない
手が()	手間(てま)がかかっている	手が込(こ)む
手が()	方法(はうほう)がないこと	手がない
手を()	あらゆる手段(しゅだん)で精(せい)いっぱいやる	手を尽(つ)くす
手に()	集中(しゅちゆう)できない	手につかない
手を()	着手(てしゆ)する	手を染(そ)める
手に()	はらはらすること	手に汗(あせ)を握(にぎ)る
手を()	今までの関係を絶つ	手を切る
手を()	やっていることの範囲(はんい)を広げること	手を広げる
のどから()	ほしくてほしくてたまらないこと	のどから手が出る
手が()	腕前(うでまえ)が上達(じやうたつ)すること	手が上(あ)がる
手を()	何もしないでただなりゆきを見ていること	手をこまねく
膝を()	お互いに親しく打ちとけて話し合うこと	膝(ひざ)をまじえる
すねを()	自分の力で生活することができず、親などのやっかいになること	すねをかじる
耳が()	弱点を指摘(ていさ)され、聞くのがつらい	耳が痛(いた)い

耳に()	同じことをくりかえし聞かされて聞きあきること	耳にたごができる
耳が()	うわさなどを人より早く聞きつけるようす	耳が早い
耳に()	ちらっと聞く	耳にはさむ
耳に()	何気なく聞く	耳にする
耳を()	よく聞こうとする	耳を澄(す)ます
耳を()	熱心にじっと聞く	耳を傾(かたむ)ける
耳を()	相手の話を聞こうとする	耳を貸(か)す
寝耳に()	とつぜんのことに驚くこと	寝耳(ねみみ)に水
耳を()	意外(いがい)で信じられず、聞き違いではないかと思うこと	耳を疑(うたが)う
耳を()	必要なお金を全額用意すること	耳をそろえる
耳に()	聞いていて嫌だと感じる	耳にさわる
腕が()	自分の力を示したくてむずむずする	腕(うで)が鳴(な)る
腕を()	じょうずになる	腕を上げる
腕に()	腕前をふるおうとしていっそうはりきること	腕によりをかける
指を()	手が出ずにながめている	指をくわえる
指を()	かげで悪口を言う	指を指(さ)す
爪に()	とても貧(まず)しい生活のたとえ	爪(つめ)に火をともし
胸が()	不愉快な気持ちが消え、せいせいすること	胸がすく
胸を()	感動する	胸を打たれる
胸を()	悲しみや心配ごとで苦しむ	胸を痛(いた)める
胸が()	心配や悲しみを強く感じる	胸がつぶれる
胸を()	力が下の者が力が上の者に練習の相手になってもらうこと	胸を借(か)りる
腹が()	心の中に悪い考えをもっているようす	腹が黒い
腹を()	覚悟(かくご)をきめること	腹をすえる
腹に()	怒(いか)りをおさえることができないこと	腹にすえかねる
腹を()	覚悟(かくご)をきめること	腹を決(き)める
腹を()	大笑いすること	腹を抱(かか)える
腹を()	かくさないで本心(ほんしん)をうちあける	腹を割(わ)る
腹を()	相手の心中をうかがうこと	腹を探(さぐ)る
背に()	大切なことのためには、小さなことにはかまっていられないこと	背に腹はかえられない

肝が()	どっしりして落ち着いていること	肝(きも)がすわる
肝を()	非常におどろくこと	肝(きも)をつぶす
へそを()	機嫌を損ねて言うことをきかない様子	へそを曲(ま)げる
ほぞを()	後悔すること	ほぞをかむ
腰が()	他人に対してへりくだって、ていねいである	腰が低い
腰が()	なかなか動かない様子	腰が重い
腰を()	落ち着いてどっしり構えること	腰をすえる
腰を()	ひどくびっくりする	腰をぬかす
腰を()	途中で邪魔をする	腰を折(お)る
骨を()	苦勞(くろう)をかえりみず力をつくすこと	骨(ほね)を折(お)る
足が()	長い間歩いたり立っていたりしてつかれ、足がこわばること	足が棒(ぼう)になる
足を()	悪い仕事をやめて、まじめな生活にはいる	足を洗(あら)う
足を()	人の前進や成功(せいこう)のじゃまをすること	足を引っ張る
足を()	交通機関が止まって、交通ができなくなる	足を奪(うば)われる
二の足を()	ためらうこと	二の足を踏(ふ)む
足が()	あまり訪れなくなる	足が遠(とお)のく
足が()	知らず知らずにその方へ行く	足が向く
足が()	予算をオーバーする	足が出る
あげ足を()	相手のことばじりやいいそこないをとらえてやりこめること	あげ足を取る
足元を()	相手の弱点(じゃくてん)を見ぬき、それにつけこむこと	足元(あしもと)を見る
足元()	危険(きけん)や重大な事態(じたい)が身近にせまっていること	足元(あしもと)に火がつく
足が()	興奮して落ち着かない様子	足が地につかない
足が()	道が悪くてうまく歩けない	足がとられる
二足の()	同じ人が二つの職業をかねること	二足のわらじ
尻馬に()	深く考えずに他人にあわせて行動すること	尻馬(しりうま)に乗る
尻に()	ものごとがさしせまってあわてるようす	尻(しり)に火がつく
身を()	苦勞をいとわず、けんめいに働くこと	身を粉(こ)にする
身に()	身の程をすぎてふさわしくない	身に余(あま)る
身に()	他人の不幸がわが身に引き比べられる	身につまされる

身も()	表現が露骨すぎて含みも情緒もないこと	身もふたもない
脂が()	仕事などに調子がでること	脂(あぶら)が乗る
青菜に()	急に元気をなくしてしょげるようす	青菜(あおな)に塩(しお)
()をしめる	一度うまくいったので次もと期待すること	味(あじ)をしめる
あとの()	手遅れになること	あとのまつり
()を打つ	相手の調子に合わせてうなずいたりすること	相(あい)づちを打つ
油を()	仕事をしないで遊ぶこと	油を売る
()をしぼる	失敗(しっばい)などをきびしくしかる	油をしぼる
()を食う	驚きあわてること	あわを食う
息を()	息をおさえてじっとしているようす	息(いき)を殺(ころ)す
息を()	驚いてはっとする	息(いき)をのむ
()につく	動作や身なりがその人の役割や仕事に合っている様子	板(いた)につく
一日の()	少しすぐれていること	一日(いちじつ)の長
犬の()	かげで空(から)いばりをする	犬の遠(とお)ぼえ
牛の()	進行, 進歩が遅いこと	牛の歩み
()置く	相手が自分よりもすぐれていると認めて敬意を払うこと	一目(いちもく)置(お)く
二の句が()	あきれて次に言う言葉がでないこと	二の句(く)がつけない
二の舞を()	同じ失敗を繰り返すこと	二の舞(まい)を演(えん)じる
後ろ髪を()	あとのことが気にかかって, あきらめきれないこと	後(うし)ろ髪(がみ)をひかれる
()が合う	たがいにぴったりと気が合う	馬(うま)が合う
馬の()	身分, 素性がはっきりしないこと	馬(うま)の骨
さばを()	数をごまかすこと	さばを読む
おうむ()	相手の言ったとおりに言い返すこと	おうむ返(がえ)し
お茶を()	一時のがれにその場をごまかすこと	お茶をにごす
()をつける	人や物をすぐれているとして保証すること	折(おり)紙をつける
()が立つ	おだやかでない言動によって, ものがうまく進まなくなる	角(かど)が立つ
()を脱ぐ	自分の力ではかなわないことを認め, 降参すること	かぶとを脱(ぬ)ぐ
折り紙を()	一流であり, 信用できることを保証すること	折(おり)紙をつける

思う()	予想したとおりにうまく行く	思う壺(つぼ)にはまる
気が()	心を許してつき合える	気がおけない
()に病む	くよくよ心配して思い悩(なや)むこと	気に病(や)む
()をもむ	どうなることかと心配(しんぱい)して、いらいらすること	気をもむ
壁に()	困難なことに会う	壁にぶつかる
尾を()	あとあとまで影響する	尾を引(ひ)く
木で()	ぶあいそうにもてなすこと	木で鼻をくくる
念を()	確かめること	念を押(お)す
()をさす	あとで問題が起こらないように念(ねん)をおすこと	釘(くぎ)をさす
煙に()	相手の判断をまごつかせる	煙(けむ)に巻(ま)く
けりを()	終わりにする	けりをつける
けがの()	失敗(しっぱい)が思わぬ良い結果(けっか)を生むこと	けがの功名(こうみょう)
影が()	あまり目立たない、元気がないように見える	影(かげ)が薄(うす)い
さじを()	だめだと思ってみすてること	さじをなげる
だめを()	念には念を入れて確かめること	だめを押(お)す
しっぼを()	悪いことがあらわれてしまうこと	しっぼを出す
()を切らす	待(ま)ちくたびれて、がまんできなくなること	しびれを切らす
しのぎを()	激しく争う	しのぎを削(けず)る
棚に()	自分に不都合なことは知らぬふりをする	棚(たな)に上げる
砂を()	味わいのない様子	砂をかむ
()の涙	あるかないかというぐらいの少ない量	雀(すずめ)の涙(なみだ)
()に当たる	思った通りになること	図(ず)に当たる
()に乗る	いい気になってつけあがること	図(ず)に乗る
()をくくる	たいしたことはないと軽く見る	高(たか)をくくる
裏を()	相手の予想外の行動にでること	裏をかく
うまい()	努力しないで利益を得る	うまい汁(しる)を吸(す)う
()に水	すらすらとしゃべるようす	立(た)て板(いた)に水
()にきず	他の部分はりっぱだが、そこだけ悪いということ	玉(たま)にきず
瓜()	非常に似ていること	瓜(うり)二つ

鶴の()	多くの意見をおさえる実力者の一言	鶴(つる)の一声(ひとこえ)
()にかける	自分の手で大切に世話をして育てること	手塩(てしお)にかける
()を現す	力や才能がすぐれ、目立ってくること	頭角(とうかく)を現(あらわ)す
()に暮れる	どうしたらいいのかわからなくなる	途方(とほう)に暮(く)れる
()をのむ	くやしい思いをがまんすること	涙(なみだ)をのむ
猫の()	ひじょうに忙しいこと	猫の手も借りたい
()をかぶる	本当の性質をかくして、おとなしそうにすること	猫(ねこ)をかぶる
猫()	人の機嫌をとるような優しい声	猫なで声
猫()	甘やかした愛し方	猫かわいがり
猫の()	面積がとても狭いこと	猫の額(ひたい)
袋の()	取り囲まれて逃げ場のないこと	袋(ふくろ)のねずみ
虎の()	日頃大切にしているもの	虎(とら)の子
()が知らせる	何となく何かが起こりそうな予感がすること	虫が知らせる
虫が()	自分の都合の良いように考えること	虫がいい
狸()	眠ったふりをする	狸(たぬき)寝入(ねい)り
()にする	物事を十分理解しないで受け付けること	鵜(う)のみにする
根も()	何の根拠もないでたらめなこと	根も葉もない
()をもたせる	相手にてがらなどをゆずること	花をもたせる
非の()	欠点がまったくないこと	非の打ちどころがない
ほねを()	苦勞するのをいやがること	ほねをおしむ
上の()	他のことに心を奪われて目の前のことに注意がいかないこと	上(うわ)の空
水に()	何もなかったことにする	水に流す
水を()	さそいをかける	水をむける
一杯()	相手をだます	一杯(いっぱい)くわす
絵に()	空想や計画だけすばらしくて実際には役に立たないこと	絵にかいたもち
月()	平凡なこと	月並(つきな)み
雲泥の()	物事の価値が大きくかけ離れていること	雲泥(うんでい)の差
やぶから()	思いがけないようす	やぶからぼう
山が()	ものごとの見通しがつく	山が見える

つじつまが()	物事の筋道が合う	つじつまが合う
色を()	驚きや恐れのために顔色がなくなること	色を失う
途方に()	どうしたらよいかわからなくなること	途方(とほう)にくれる
立つ瀬が()	立場がない	立つ瀬がない
取りつく()	頼っていたのに冷たく突き放されること	取りつく島もない
悦に()	一人で気に入って喜ぶ	悦(えつ)にいる
太鼓判を()	絶対大丈夫だと保証すること	太鼓判(たいこばん)を押す
反りが()	仲がしっくりいかない	反(そり)が合わない
()をおす	道理に合わないことを無理(むり)やり通そうとすること	横車(よこぐるま)をおす
袖に()	冷たくして相手にしない	袖(そで)にする
()にもすが る	追いつめられると, どんなものにもたよりたくなること	わらにもすがる
たんかを()	勢いよくまくしたてること	たんかを切る
おくびにも()	考えを隠して, 言葉や態度に少しも出さないこと	おくびにも出さない
隅に()	見かけより優れていて判断できない	隅(すみ)に置けない
たらい()	一つの事柄を順々に他に回す	たらい回しにする